

科目名	日琉交流史		英文表記	History of Japan・Ryukyu Relations		2016/3/6			
科目コード	6005								
教員名:下郡剛 技術職員名:						作成			
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態		
全学科			専1	選択	学修	2単位	講義		
科目目標	沖縄地域社会の理解を目的とし、日本本土との人々との移動に伴って生じる、文化・歴史の関係性についての認識を深める。								
総合評価	①試験を行い、その試験結果によって理解度を評価する。②PBL班編制を行い、フィールドワーク対象について、協力しあってレポートを作成し、評価する。フィールドワークは3回行うが、その中から2テーマを班単位で選択することとする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック						
			理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック			
	① 現在の沖縄地域社会の成り立ちの前提となる日本との関係について、特に文化の伝播を中心に理解を深める。(C-1)	正しく説明できるか定期試験で評価する。	琉球仏教に関するフィールドワークを通して、自分なりの視点で、琉球仏教の歴史と現状をまとめることができる。	現在における沖縄文化と沖縄仏教との関係性を総合的に理解できる。	日本仏教の宗派別異差違と琉球仏教との関係を理解できる。				
	②								
	③								
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
					JABEEプログラム教育目標	例:A-3	例:A-2	例:A-1、	例:A-3
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		90	0	10	0	100			
基礎的理解	①	90	0	10	0	100			
応用力(実践・専門・融合)						0			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティある時代像の構築に努める。 フィールドワークの手法を取り入れることで、特に沖縄北部地域が日本本土との交流に果たした役割をリアルに認識できるよう努める。 フィールドワークを行う必要上、受講者の人数制限を行う。人数は公用車で引率できる学生数とする。								
教科書・教材	教員が編集したプリント。								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス	2	授業の方針・進め方等についての説明。		
2	平安・鎌倉時代の日本仏教	2	現在における沖縄戦認識の一つとして、教科書問題を取り上げ、同問題における大手新聞社の論説を比較検討する。		
3	琉球への仏教の伝来	2	沖縄戦認識をめぐる、教科書問題の背景点となった、岩波・大江義利判決の法理を理解するとともに、その法理に基づいて、改めてメディア報道のあり様を考える。		
4	琉球仏教の展開	2	軍事史としての沖縄戦の初回として、何故沖縄が戦場になったのか、太平洋戦争全体の中での沖縄の戦略的重要性を理解する。		
5	僧侶を介した日本と琉球の	2	軍事史としての沖縄戦の2回目として、東京からの視点で沖縄作戦計画を理解する。		
6	補陀落渡海と日秀	2	軍事史としての沖縄戦3回目として、沖縄現地守備隊の視点から沖縄作戦計画を理解する。		
7	沖宮天燈山の石碑	2	研究の最前線として、近年明らかになった沖宮石碑と琉球仏教の関係性を理解する。		
8	桃林寺と円覚寺の三牌	2	研究の最前線として、近年明らかになった桃林寺と円覚寺の三牌と日本仏教の関係性を理解する。		
9	フィールドワーク1ー漂到流	2	住民被害としての沖縄戦の初回として、大日本帝国がどのような方針を採用するのかを理解する。		
10	フィールドワーク1ー漂到流	2	住民被害としての沖縄戦の2回目として、県外疎開問題が生じた背景を理解する。		
11	フィールドワーク2ー金武観	2	住民被害としての沖縄戦の3回目として、海上が封鎖された後、県内疎開問題が生じた背景を理解する。		
12	フィールドワーク2ー金武観	2	住民被害としての沖縄戦の4回目として、沖縄県で最後に策定された疎開(避難)問題が生じた背景を理解する。		
13	フィールドワーク3ー円覚寺	2	教科書問題の直接契機となった集団自決問題を、沖縄本島における事例として読谷村をとりあげる。		
14	フィールドワーク3ー円覚寺	2	教科書問題の直接契機となった集団自決問題を、離島の事例として渡嘉敷村をとりあげ、沖縄本島の事例と比較、発生の背景を理解する。		
15	その後の日秀	2	説明してきた軍事史・住民被害・集団自決問題の関係性をまとめる。		
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	フィールドワーク3回中の2回を選択し、レポートを提出する。			各20時間×2回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は電子回路Ⅰ・Ⅱ(3年)、集積回路Ⅰ(4年)、集積回路Ⅱ(5年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分＝1、90分＝2)